

普及活動情勢報告（令和6年6月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

他の産地のシシトウはどうだろうか？ ～JA宿毛支所シシトウ部会視察研修～



5月24日、黒潮町大方・佐賀地区の生産者2名のほ場で、JA宿毛支所シシトウ部の会視察研修が開催され、生産者10名、関係機関4名が参加しました。

会では、地域の篤農家の栽培初期管理や、今後の仕立て方、かん水・追肥等について意見交換を行いました。

農業改良普及課からは、シシトウ栽培の管理方法と整枝方法の説明を行いました。生産者からは「自身の管理の参考になる」「視察先も仕立て等を変えていけば、収量・品質がよくなるのでは」といった意見がありました。

当課は今後も関係機関と協力し、個別巡回や部会活動で栽培管理について指導・提案を行い、収量・品質向上にむけて支援していきます。

今年のいちごはどうだった？ ～JA宿毛支所イチゴ部会反省会～



5月29日、JA宿毛支所でJA宿毛支所イチゴ部会反省会が開催され、生産者12名、関係機関11名が参加しました。

会では、収穫する際の熟度の基準、規格表の変更、目慣らし会の開催時期等について話し合いました。

農業改良普及課からは、育苗期の病害と対策、農福連携、農業版BCPについて情報を提供しました。生産者からは「梅雨時期の病気には特に気をつけたい」などの意見がありました。

当課は今後も収量・品質向上に向けて、関係機関と協力しながら支援していきます。

あしずり黒潮米のあんばいは！ ～JA高知県三崎支所水稻部黒潮米部会～



6月10日、黒潮町の生産者ほ場で、JA三崎支所黒潮米部会の現地検討会が開催され。生産者4名が参加し、各生産者のほ場5ヶ所を巡回しました。

農業改良普及課は4～5月の気象と生育、幼穂の見方、出穂期、収穫期、病虫害防除指導を行いました。生産者からは「苗いもちが多く発生した」「ジャンボタニシの食害被害が多い」「今年は生育が遅れている」といった意見がありました。

各ほ場では、生産者同士で草丈、茎数、葉色、幼穂長等の生育状況の確認と情報交換が行われ、栽培意欲向上に繋がりました。

当課は今後も関係機関と協力し、黒潮米部会の米づくりの支援を行い、ブランド米の生産拡大を推進します。

田植えを体験してみよう！

～具同小学校食農教育授業～



6月12日、四万十市入田の14aの水田で、具同小学校5年生79名が田植えを行いました。

農業改良普及課は、市役所、地元集落営農法人と連携し、13年前から小学校の総合学習の一環として、水稻の栽培体験を支援しています。

当日は普及課の職員が苗の植え方について説明した後、児童らが裸足で水田に入り、田植えを行いました。児童達が、足が泥から抜けなくなったりや苗を植える目印が消えかかっていることで苦戦しながらも、一生懸命田植えを行っていました。

当課は今後もお米づくりの支援を行い、食農教育を推進します。

新規就農者の状況は？

～四万十市新規就農者巡回指導を実施～



6月17日、支援チーム（市役所、JA、普及指導員）で四万十市の新規就農者2名（イチゴ、トマト）のほ場を巡回しました。

農業改良普及課からは、経営計画や補助事業について説明しました。新規就農者からは「栽培は大変だが頑張っている」「良い支援策があれば情報提供して欲しい」といった意見がありました。

当課は今後とも新規就農者のほ場を巡回し、栽培・経営状況を確認すると共に、生産者の求める情報を随時提供し、早期の経営安定に向けて支援していきます。